

後期学校評価の結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に格別のご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

生徒がよりよい学校生活を送ることができるように、学校では毎年2回、学校の取組について評価し、改善を図るための「学校評価」を行っています。生徒アンケート、教職員アンケート、保護者の皆様にもご協力いただいたアンケート結果をもとに、今後の対策を考え、取り組んでいきます。12月に行った後期学校評価について報告いたしますとともに、次年度へ向けて改善につなげていきます。

生徒一人一人が、充実した学校生活を送れるよう教職員一同努めてまいりますので、今後ともご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

() の 数字は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合 (%)
(令和五年度後期→令和六年度前期→令和六年度後期) の推移を表している。

1. 学習について

(1)わかりやすい授業

生 徒「授業がわかりやすい」	(83→89→91)
----------------	------------

(2)活用力の向上

生徒「学んだことを自分の生き方や考え方、社会生活の中で活かそうとしている」	(78→80→84)
---------------------------------------	------------

(3)読書活動の充実

生 徒「朝読書に真剣に取り組んでいる」	(81→84→85)
---------------------	------------

保護者「お子さまと、読書に関わることにについて話すことがある」	(41→28→26)
---------------------------------	------------

(4)学習規律の徹底

生 徒「チャイムスタートを意識して行動している」	(87→89→93)
--------------------------	------------

生 徒「授業の始めと終わりの挨拶をしっかりしている」	(82→92→90)
----------------------------	------------

生 徒「授業では正しい姿勢で授業を受けている」	(66→72→76)
-------------------------	------------

(5)家庭学習の充実

保護者「お子さまには、家庭学習の習慣がついている」	(65→62→63)
---------------------------	------------

<今後の改善策>

わかりやすい授業・キャリア教育の充実

「授業が分かりやすい」という質問項目への肯定的な回答は、今年度6ポイント向上することが出来ました。ICT 機器を有効に活用することで、生徒もいろいろな視点から学習することが出来きていますと感じます。引き続き、どの生徒に対しても分かりやすいと思える授業を実践できるよう努力してまいります。

読書活動の充実については、月 1 回程度クラス別に図書館で行ったり、教職員によるブックトークを行ったりと取り組みを引き続き行ってまいりました。その結果が徐々にではありますが、読書への意欲が向上してきていると思われます。今後さらに工夫し、ご家庭でも本の話がしたくなるような魅力ある読書活動に取り組んでまいります。

また、授業規律の徹底に関しても向上が見られました。授業規律が徹底されると生活にもメリハリがつき、集中力も増していくものと考えます。継続して指導していくとともに、家庭学習の重要性も生徒に問いかけ、学習効率の向上を目指します。

2. 生活について

(1)規則正しい生活

生 徒「起床、就寝時間を決めて生活している」	(58→65→65)
保護者「お子さまは、起床時間や就寝時間など、規則正しい生活を送っている」	(73→64→67)
生 徒「SNS の時間を使用時間決めて守っている」	(47→49→47)
保護者「お子さまは、SNS の時間を決めて守っている」	(40→42→38)

(2)あいさつ

生 徒「気持ちの伝わるあいさつを自分からしている」	(84→86→88)
保護者「鶴中生は、学校や地域で自分から気持ちの伝わるあいさつしている」	(77→86→84)

(3)道徳教育の充実

生 徒「友達に対して、思いやりの心で行動している」	(93→95→95)
保護者「お子さまは、友達に対して、思いやりの心を持っている」	(99→97→96)

(4)生徒指導・教育相談の充実

生 徒「学校ではいじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごすことができる」	(97→95→96)
保護者「お子さまは、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている」	(89→90→91)
生 徒「先生は、自分の良いところや頑張ったことを褒めてくれたり認めてくれたりする」	(91→90→94)
保護者「お子さまは、学校で良いところや頑張ったことを褒められたり、認められたりしている」	(84→90→93)

<今後の改善策>

「規則正しい生活」が送れているいる生徒が前回とほぼ変わらない結果となりました。学校でも積極的に規則正しい生活のメリット、話をしていきたいと思ひます。ご家庭でもぜひご協力をお願いいたします。

「気持ちの伝わるあいさつ」については生徒・保護者ともほぼ横ばいの状態でした。社会生活の基盤となるあいさつの重要性を伝えながら、一人一人の気分がよくなるあいさつを目指して今後も取り組んでまいります。

「思いやりの心」や「安心・安全な学校」についてはすべての項目が高い水準で安定しているといえます。全ての項目 100%を目指し、誰もが安心して楽しく学校生活が送れるよう、生徒への声掛けや認めなど「対話」を重視しながら見守ってまいります。

どの学校にも言えることですが「SNS の使い方」について大きな問題としてとらえております。学校でも、たびたび注意喚起を行っていますが、現状はよろしくありません。SNS による睡眠時間、勉強時間の減少が問題となっております。また、トラブルに巻き込まれる可能性も依然として高い状況であります。学校でも危機感をもってこの問題に取り組んでまいります。保護者の皆様方には学校による注意喚起や外部機関との連携を高めていく試みへのご理解・ご協力をお願いいたします。

3. 生徒会活動などについて

(1) 特別活動の充実

生徒「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加（協力）している」	(77→79→83)
教職員「生徒は、主体的に学校行事に取り組んでいる」	(100→83→95)

<今後の改善策>

生徒会活動の充実

生徒会で自主的に様々な取り組みを行っていることが、生徒全体の意識の向上に結びついていると考えます。9 月には運動会が生徒中心で開催され、10 月には文化祭と大きな行事が生徒主体で行われたことも、大きな影響があるといえます。生徒会委員会を中心に積極的に取り組み、参加していくことで充実感を得られるように後押ししていきたいと考えています。また、教職員は生徒による自主的な活動を支援していきます。

4. 学校関係者評価委員会・学校評議員会より

P T A 代表、地域代表の方による学校関係者評価委員会、及び学校運営協議会を 2 月に開催し、後期学校評価に関する分析、今後の改善策等についてご意見をいただきました。

○図書館に新書は入るのか

→白山市は図書館教育が充実していて新書等は割と早く入ってくる。また、市内学校や図書館ともネットワークをつないであり、必要な本は集められるようなシステムができている。

○鶴来図書館にも、いろいろな新書が入っている。学習にも、積極的にコミュニティセンターを活用してほしい。

○大雪の日、早く学校を開けてくれるのはありがたい。親の通勤に合わせて学校に送っていける。逆に始業時間が遅くなると、交通手段がなくなるので大変になる。

○来年北鉄バスの鶴来松任線が廃止のニュースを見た。冬場何人も乗っているようなので、対応を考えてほしい。

※今回も地域や保護者の皆様と協力して子どもたちを育てていくことがとても大切であると改めて感じました。いただきました貴重なご質問やご意見を今後の学校教育に生かしてまいります。誠にありがとうございました。